

にいがた

新築大作戦

21

わが家の契約も済み、きれいなことです。良いなどしないでさりげなくいよいよ着工です。契約工務店の現場は、どんな見に行くと、現場がきれい書にはんこを押すときにときでもきれいに片づいいかどうかわかります。はドキドキしました。工務店は施主がはんこを押すまでは何でもいこと聞きますが、はんこを押した瞬間から施主の立場は弱くなります。

契約書には住宅の詳細は書いてありません。詳細は図面に描いてありますので、図面がすべてになります。従って、口約束で「これもします」「あれもします」と言っても、図面に描いてなければ法律的には工事を行わなくてもいいことになりま

工務店の良否

■良い工務店と悪い工務店の見分け方■

図面	材料の詳細や設備の型式がきちんと書いてある図面が良い工務店 平面、立面図のみで簡単な見積書に材料や設備が書いてある工務店は悪い工務店。例えば設備にエアコンとだけ書いてあり、どのメーカーのどんなエアコンかが何も書いていないのは最低の工務店
現場	少なくとも1日3回は掃除して常に現場をきれいに保っているのが良い工務店 見るところだけきれいにして、見えないところは掃除もしないのが悪い工務店。床下や天井裏にもぐってみたら、空き缶や空き瓶、余った材木が捨ててあったことがある
追加・変更	追加・変更工事を書類で確認するのが良い工務店 口約束だけで書類を作らないのが悪い工務店
現場の職人	自分のやっている工事の意味を知っているのが良い工務店 何のための工事か知らずに工事しているのが悪い工務店

連絡せず現場視察を

良い工務店と悪い工務店を見分ける方法はいくつありますか？

まず第一は建設現場が所を聞いて、事前に連絡追加工事や変更を頼みたり、おこなうことが重要です。分

わが家の現場監督は打ち合わせのとき、「言葉の領収書」というのをくれました。これは打ち合わせの内容をメモにしてコピーを両手で持っているというもので、なかなか良いシステムだと感心しました。

三番目は、現場で実際に施工している大工や設備施工者の能力です。設計が立派でも、現場で実際に家を造っている職人の能力が欠けていればよい家はできません。

特に断熱・気密工事は知識のない大工にとって余計な工事で、最終的には壁や床の中に隠れて見えませんので、手を抜きやすい部分です。

良いうわさはなかなか聞きませんが、悪いうわさはすぐ広がります。不安があれば、業界に詳しい人に聞けば悪い業者はすぐに分かれます。

(赤林伸一・新大自然 科学研究科助教授)